

活動報告

団体名	鋸南復興アクセラレーション
活動名	鋸南町で住まい再建をしている人が安心して暮らしていけるための活動
活動期間	2019/12/01～2020/9/30
活動の成果	<p>公費解体を行う場合、家屋の中の掃除や片付けは住人が行うことになっているが、高齢など一人で掃除や片付けを行うことができないかたも多く、公平性が求められる行政も片付けの対応をすることができず公費解体があとまわしになってしまう。こういった案件については、行政と連携しながら、当団体を通じてボランティア団体に依頼し片付けを行った。実際に活動を行ってみて、一番困難であったのが、コロナの状況の中、外部からボランティアさん呼び込むことが難しくなったことである。ただし、このコロナ禍でも当団体は、地元の人を中心となっていればこそその強みを発揮したといえる。</p> <p>当団体が鋸南町で継続的に活動することになり、団体や社協が、積極的にニーズを受けるようになっていった。それにより多くの家屋、住民の救済に与えた影響や変化が大きかったといえる。台風は毎年来るので、被災住民にとっては毎年苦しい季節を迎えることとなる。とくに今年の7, 8, 9月、当団体は「減災」に向けて、周知を幅広く行い、また非住居のニーズも受け瓦が吹き飛んでくる恐さを抱え続ける住民の心の安定に寄与したと考えられる。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>寄付者のみなさまには、多額の寄付金をいただきましたこと、感謝の気持ちを申し上げます。屋根が破損するというのは、建物にとって致命的ともいえる被害であり、特に生活保護を受けている人や障害を持っている人は、家屋を直すこともできず、雨漏りをする中、カビの発生に耐えながら生活している状況でした。社会福祉協議会内の災害ボランティアセンターが閉鎖する中、支援のため町民が中心となりボランティアセンターを継続的に運営していく必要性があり、弊団体を立ち上げました。団体が継続して現在まで活動できたのは、赤い羽根のおかげとしか言いようがありません。寄付者のみなさま、ありがとうございました。</p>

(活動のようす)

